

福島ひまわり里親プロジェクト

# ひまわり新聞

里親さんへ 心からのありがとうを

全国で、ひまわりの種を咲かせて頂き、また、その想いを咲かせて頂き、誠にありがとうございます。

我々の理念は、「For You For Japan!」です。

あなたの為に、そして、日本の為に。

つまり、行動基準が、それは、「世の為になるか？人の為になるか？」なのです。

ただ活動するのではなく、何の為にやるのか？

それを考えてひまわりを咲かせて、種を福島の為に送ってくださる皆様は、本当に我々と志を共にしてくださる同志だと考えています。

また、種と共に送ってくださる手紙にも、すべて、福島の為を感じております。このような活動を続けていて、更に気づいた事は、子供たちの手紙に、「人のお役に立ちたい」という文章がふれているということです。

この子供が、十年後大人になった時、自分の事しか考えない大人になるでしょうか？これこそ、十

年後の「日本の為」になっている活動だと、里親さんのお子様達から学ばせて頂いております。

最近では、被災地で、あなたの夢はなんですか？というアンケートをとるそうです。被災地ではない地域では、やはり、プロスポーツ選手やキー屋さんなど、一般的な職業が出るそうです。

ところが被災地では、断然多くの答えが、「人のお役に立つ、人を助けられる仕事をした」と答えるそうです。また、警察官や自衛隊なども、上位にくるそうです。大人が人を助ける背中をちゃんと見ているのです。そこに格好良さを見たのです。

このような、「人の為」に何がしたいと考える子供達が十年後の日本を背負ってたつのです。

我々は、十年後の「日本の為」に、里親さん達と力を合わせて、これからも、このひまわりを日本中に咲かせていきたいと考えています。

本当にありがとうございます。

応援メッセージ

メルマガ登録



NPO法人 チームふくしま  
福島ひまわり里親プロジェクト

TEL.024-529-5153

HP: <http://www.sunflower-fukushima.com/>

空メール送信で  
登録できます





まるせい果樹園



ふくしま土壌クラブ



飯坂温泉



土湯温泉



わかさ幼稚園



ケアタウンひまわり



熱塩温泉



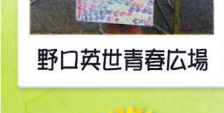
裏磐梯観光協会



つきだて花工房



アグリプロダクションK



野口英世青春広場



猪苗代ハーブ園



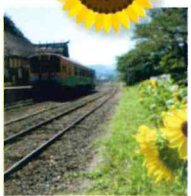
安達ヶ原ふるさと村



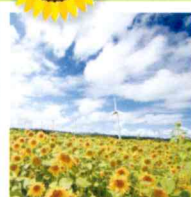
安達ヶ原ふるさと村



大越町



湯野上温泉



布引高原



ふくしまシード



好間町商工会



好間町商工会



今年の夏、県内各地で  
里親さんのひまわりが咲き誇りました!

(開花場所約9,000ヶ所のうち一部を紹介させていただきます。)



F u k u s h i m a s u n f l o w e r m a p

# ふくしま ひまわりマップ

1	<b>湯野上温泉 (湯野上温泉駅、各旅館)</b> <a href="http://www.yunokami.jp/">http://www.yunokami.jp/</a> 下郷村		
	日本唯一のかやぶき駅舎の湯野上温泉駅。線路沿いに大輪のひまわりが咲きました。観光名所大内宿のある会津下郷町の入り口となる駅で、この夏は車内からも見えるひまわりが大勢の観光客を迎えました。藤龍館を中心に旅館でも取り組み、ひまわり畑が早朝の散歩コースとして紹介されるなど、ひまわりが下郷の夏を彩りました。		
2	<b>喜多方 (JR喜多方駅、熱塩温泉)</b> <a href="http://www.kitakata-kanko.jp/">http://www.kitakata-kanko.jp/</a> 喜多方市		
	JR喜多方駅では、線路沿いに熱塩小学校の児童が植えたひまわりが花開きました。駅の利用者より「気持ち明るくなる」との声も聞かれました。熱塩小学校とJR喜多方駅を結んだ旅館ホテル生活衛生同業組合青年部の熱塩支部、日中支部の旅館でもひまわりが咲き、観光客を楽しませました。		
3	<b>つきだて花工房</b> 伊達市月館町	4	<b>まるせい果樹園</b> 福島市
	昨年、Smile!ひまわりプロジェクトとしてひまわりを育て、福島県民に勇気と元気を届けてくれたつきだて花工房。手厚いお世話もあって、今年も美しいひまわりが咲きました。 <a href="http://t-hanakobo.jp/">http://t-hanakobo.jp/</a>		モモ畑や、ブドウ畑にひまわりが開花しました。カートに乗って巡ることの出来る園内には、ひまわりロードも作られました。 <a href="http://www.geocities.jp/fukushimamarusei/">http://www.geocities.jp/fukushimamarusei/</a>
5	<b>あいづひまわりプロジェクト</b> 会津坂下町	6	<b>柳津観光協会</b> 柳津町
	会津坂下町の田んぼの中に咲いたひまわり。観光地である「春日八郎おもいで館」の前に広がったひまわり畑に、訪れた人たちも思わず足を止めていました。 <a href="http://ameblo.jp/aizuhimawari/">http://ameblo.jp/aizuhimawari/</a>		地域の輪を深め、その輪を日本全国に広げようとひまわりを育てました。柳津を通る国道252号線はフラワーロードとして、たくさんの団体の人たちが協力し合い、ひまわりをはじめとする様々な花が咲きました。 <a href="http://aizu-yanaizu.com/">http://aizu-yanaizu.com/</a>
7	<b>猪苗代ハーブ園</b> 猪苗代町	8	<b>好間町商工会</b> いわき市
	ひまわり迷路2か所と大きなひまわり畑が登場。子どもたちが駆けまわり、人気の観光スポットとなりました。ひまわりの前にはプロジェクトの説明が書かれた看板も設置され、福島を勇気づけました。 <a href="http://www.listel-inawashiro.jp/herb/">www.listel-inawashiro.jp/herb/</a>		2011年、好間町商工会は震災で津波被害のあった海岸線に、希望の花としてひまわりを植えました。好間町保育所でもひまわりを育てていただき、福島の浜の元気の源になっています。 <a href="http://www.f.do-fukushima.or.jp/shoukoukai/yoshima/">http://www.f.do-fukushima.or.jp/shoukoukai/yoshima/</a>
9	<b>ふくしま土壌クラブ</b> 福島市	10	<b>安達ヶ原ふるさと村</b> 二本松市
	果樹園や国道沿いで大きなひまわりを育ててくれました。農家を中心の同クラブメンバー。福島の復興の力となっただけでなく、農業の振興に向けても、力強く取り組んでいます。 <a href="http://www.dojyouclub.jp/">http://www.dojyouclub.jp/</a>		わらぶき屋根の「絹の家」や、安達の五重塔など純和風の建物と、ひまわりの共演を見ることができ、人気の撮影スポットとなりました。 <a href="http://www.michinoeki-adachi.jp/furusato/">http://www.michinoeki-adachi.jp/furusato/</a>
11	<b>大越町</b> 田村市大越町	12	<b>飯坂温泉</b> 福島市
	約1,500戸でひまわりを育ててくれました。お盆には、毎年恒例のひまわりフェスティバルが開かれ、2万本のひまわりの中で行う盆踊り大会など、家族と地域の交流が生まれました。 <a href="http://www.safins.ne.jp/dentech2/Welcome.html">http://www.safins.ne.jp/dentech2/Welcome.html</a>		約7,000世帯に種を配布した飯坂温泉。9つの公衆浴場や、駅、各温泉旅館をはじめ、個人のお宅でも咲き誇りひまわり温泉街となりました。 <a href="http://www.iizaka.com/">http://www.iizaka.com/</a>
13	<b>野口英世青春広場</b> 会津若松市	14	<b>裏磐梯観光協会</b> 北塩原村
	6月に行われたイベントに、大勢の子ども達が参加。ひまわりが福島の偉人生誕の地で、大きな黄色の花を咲かせました。 <a href="http://www.aizu.ne.jp/tmo/hiroba/">http://www.aizu.ne.jp/tmo/hiroba/</a>		観光協会から、旅館、ペンションなどに種を配布。磐梯山、安達太良山、吾妻山と福島を代表する山々とひまわりが楽しめました。 <a href="http://www.urabandai-inf.com/">http://www.urabandai-inf.com/</a>
15	<b>ケアタウンひまわり</b> 福島市	16	<b>土湯温泉</b> 福島市
	ひまわり農園として野菜の横にプロジェクトのひまわりを植えました。大きな花を咲かせ、利用者の皆さんを笑顔にしました。 <a href="http://www.seiukai.org/himawari.html">http://www.seiukai.org/himawari.html</a>		ハイキングコースとして人気のつつじ山のすぐ近くに、広いひまわり畑ができました。種まきには夏の土湯を盛り上げようと、50人以上のボランティアが参加しました。 <a href="http://www.tcy.jp/">http://www.tcy.jp/</a>
17	<b>布引高原</b> 郡山市	18	<b>ふくしまシード</b> 須賀川市
	福島民報社のスマイルとうほくプロジェクトを通して、里親さんのひまわりも育てられた布引高原では、100mの巨大風車と一緒に楽しむことのできるひまわりが観光名所となりました。 <a href="http://smile-tohoku.jp/">http://smile-tohoku.jp/</a>		全国各地の里親さんから送られてきた様々な種と一緒に、須賀川市の棚田に大勢のボランティアの皆さんの手でまかれました。 <a href="http://fukushima-seed.jp/">http://fukushima-seed.jp/</a>
19	<b>わかさ幼稚園</b> 福島市	20	<b>アグリプロダクションK</b> 福島市
	福島市内の幼稚園では、幼稚園の先生とバスの運転手さんが種まきを行い、咲いた花に子どもたちも大変喜んでいました。市内の他の幼稚園にも種が配られました。 <a href="http://space.geocities.jp/fukushima_wakakusa3388/">http://space.geocities.jp/fukushima_wakakusa3388/</a>		個人の農家が福島市内にひまわり畑を6ヶ所作り、数百本のひまわりを咲かせてくれました。「何事も楽しんでやりたい」と同プロダクション。多くの方々に笑顔を届けました。



たくさんのひまわりが咲いたポポ





# ガールスカウトたちもひまわりプロジェクトに参加！

ガールスカウト千葉県連盟北総地区の皆さんが、福島ひまわり里親プロジェクトに賛同して、ウォークラリーや種まきなどのイベントを開催してくれました。



五月二十日には千葉県の北総花の丘公園を会場に、「ここにひまわりラリー」を開催。チェックポイントを回りながら、ウォーキングを楽しみイベントで、このチェックポイントの一つに、ひまわりの絵をポディペインティング(安全なペンを使って体に絵を描く)をしたり、福島の被災者への応援メッセージを書くコーナーが登場！

「いつでも応援しています」。温かい応援メッセージである横断幕が完成しました。参加したみなさんは、被災地の様子、ひまわりプロジェクトを通じて地域を活性化させていこうという本プロジェクトについて理解を深めました。

この日は、加賀屋マネージメントストアの加賀屋克美様も参加。一緒にウォークラリーをするだけでなく講演してくれました。

後日、主催のガールスカウト千葉県連盟北総地区の皆さんが、この時に完成したメッセージが書かれた横断幕のほか、ひまわりカラーのミサンガも送ってくださいました。

中央に「笑顔のひまわり咲かせよう」のフレーズとひまわりのイラストが描かれた巨大な布に、参加者が次々に応援メッセージを書いていきます。「震災に負けないで」

「いつでも応援しています」。温かい応援メッセージである横断幕が完成しました。参加したみなさんは、被災地の様子、ひまわりプロジェクトを通じて地域を活性化させていこうという本プロジェクトについて理解を深めました。

## 特別養護老人ホームでもひまわりの「輪」

同じ千葉県では、7月、ガールスカウト千葉県第98団と、千葉県匝瑳市の九十九里ホームによるひまわりの種まきが行われました。種をまいたのは、横芝光町の特別養護老人ホーム第二松丘園。ガールスカウト約20人が参加し、1粒1粒、丁寧に園庭に巻いてきました。

種まきが終わった後は、全員で記念写真。ピースサインをしたり、友達と腕を組んだりして思い思いのポーズで撮影。和気あいあいとした雰囲気の中で、種まきイベントを楽しみました。



昨年からの総合学習の一環として福島ひまわり里親プロジェクトに参加し、「ひまわりパワー大作戦」を展開してきた福島県鯖江市立待(たちま)小四年生児童による福島の支援と復興応援ソング「ひまわり」が完成しました。この復興応援ソングは、本プロジェクトの講演会や学習会、さまざまなイベントの中で紹介されています。児童は、東日本大震災の被災地を支援しようと、プロジェクトの里親として、ヒマワリの種をまいて育てる活動を展開してきました。学校の近くの畑に種をまき、季節の終わりに収穫した種を袋に入れ、メッセージを添えて地域の人たちに配布した。同時に、児童らが詩をつづり、これを歌詞にした復興応援ソング「ひまわり」が完成。CDにして本プロジェクト事務局に送ってくれました。

## みんなの願いを込めたヒマワリの歌が生まれたよ！

今年六月二十七日、本プロジェクトのメンバー五人が、ヒマワリを育て、オリジナルの応援ソングを作ってくれたお礼のため、同小学校を訪問。プロジェクトに参加してくれた四年生八十三人の児童と親睦を深めました。



交流会では、ヒマワリをどのように育てたか、どのような工夫があったかなどを順番に発表。「い

つまでもつながろう」ともつとつながろう日本」という文字と、ひまわりの絵を描いた画用紙を持って、「ひまわり」を歌いました。

参加した本プロジェクトのメンバーは「子どもたちの歌声に勇気と元気をもらいました」(C

Dは聴きました。こうして直接、生の歌声を聴くと改めて感動しました。この気持ちを福島に持つて帰りたい、「福島はまだまだ大変な状態ですが、子どもたちの歌声で元気をもらいました」などと話しました。

子どもたちの歌と、当時の様子は動画撮影し、ユーチューブにもアップしています。



立待小学校訪問の様子



立待小四年生が歌う「ひまわり」

立待小学校の取り組みは、朝日小中学生復興新聞コンクール(朝日新聞主催)で特別賞を受賞し、その後、参議院議員会館にも展示されました。また、三月十日に福井フェニックスプラザで開催された「東日本大震災追悼のつどい」のエンディングで歌う復興支援ソングにも選ばれました。



# 伝統的な夏祭りを彩ったひまわり

相馬野馬追・南相馬市

## ひまわりが咲く中を

## 駆け抜けた騎馬武者たち



鮮やかに飾りました。

一千有余年の歴史を誇る、国重要無形文化財に指定されている「相馬野馬追(そうまのまおい)」。平将門が相馬に野生の馬を放して軍事訓練をしたことに始まるといわれる古式ゆかしい祭事。

社の周辺にたくさんひまわりの種まきをしました。

七月二十八日から三十日までの三日間、全国から多数の観光客が訪れるのを前に、五月十二日、地元のボランティアの方々が参加して、騎馬武者が出陣する相馬太田神社

活動の中心になったのは、福島ひまわり里親プロジェクトに賛同して、地元で活動している「野馬追の里ひまわりプロジェクト」(太田地区復興会議と同地区区長会、太田まちづくり委員会など企画)。

約二百人が参加して、神社周辺の田んぼを中心に種まきを実施。その後も除草や手入れなどを行い、野馬追の里を

相馬市は、震災前は七万人の人口がありました。ところが、大震災と原発事故の影響で、市民が次々に避難し、震災後は一時期は半分以下にまで激減しました。戻ってきている人がいるため、人口は少しずつ回復しています。そのような影響もあって、昨年は祭りの内容が大幅に縮小されました。

今年、メインとなる甲冑(かっちゅう)競馬と、神旗争奪戦が震災前と同じように開催されました。執行委員会によると、来場者は約四万二千人で、震災前の一昨年を約四千人上回ったそうです。

祭りの主人公、日本一の大わらじは長さ十二メートル、重さは2tの巨大なもので、無病息災を願う人々により、毎年二月に福島市の中心部にある信夫山(しのぶやま)に奉納されています。夏は、福島つ子の交流の場としてイベントを中心に開催され、今年も大わらじパレードやダンス「ダンシングソーダナイト」で大いに盛り上がりました。

## パレードのコースに揺れるひまわり



るく演出しました。

八月三、四の両日、福島市内で「第四十三回福島わらじ祭り」が開かれ、大わらじが練り歩く国道13号の中央ステージ前に、福島市内の温泉街の方々が育てたひまわりの鉢植えが展示され、会場を明

ご快諾いただきました。

福島ひまわり里親プロジェクトの事務を担当させていただいております、チームふくしま理事の藤島康広です。



昨年そして今年と福島ひまわり里親プロジェクトにご参加いただきました里親のみなさまへこころから感謝申し上げます。

おかげさまで全国の里親のみなさんから届いたひまわりの種は、今年の夏、福島県内各地でたくさんのひまわりの花を咲かせました。

お盆休みの8月13日、祖父のお墓参りで猪苗代にいった際に近くのリステル猪苗代へ立ち寄ってみると、巨大ひまわり迷路はたくさんの家族連れで賑わっていました。また足を止めて写真を撮ってらっしゃる方の姿も多く見られました。そしてそこにいた誰もが笑顔だったことが、とっても印象的でした。

来年もまたひまわりを通して全国のみなさまとの交流が生まれること、そしてたくさんの笑顔が生まれることをこころから願っています。

これからも温かく見守ってくださいますようお願い申し上げます。ありがとうございます。



## チームふくしまからのメッセージ



全国の里親のみなさまはじめましてチームふくしま理事の堀内孝勇です。

里親さまからは、いつもたくさんの勇気と元気を頂き、心から感謝申し上げます。

今年は、里親さまから届いたひまわりの種が福島県内の各地域で育てられ満開を迎えております。

先日、私は福島県郡山市の西側にある布引高原で里親さんの種から育った満開のひまわりを観て参りました。広大な敷地に広がるひまわりのじゅうたんは親にきた方々に多くの笑顔を与えていました。

里親さんの想いは、福島県民の復興に向かう心に優しく寄り添い、支え励ましてくださっています。

今後もひまわりからうまれたご縁を大切に里親さんと共にプロジェクトを進め、復興を目指しますので今後とも応援よろしくお願いたします。

株式会社アディカ (映像・web担当)

郡山市出身 堀内 孝勇  
〒963-8016 福島県郡山市豊田町3-25  
TEL:024-983-1330  
http://www.adica.co.jp/

株式会社アグリックス (事務・農業部門担当)

鏡石町出身 藤島 康広  
〒962-0052 福島県須賀川市西川字坂ノ下113  
TEL 0248-72-2711/ FAX 0248-72-2722  
http://agrix.net/





**広島県 ひまわりの会**  
町中にひまわりが咲き誇る瀬田町で「咲かせようひまわり笑顔の輪、届け福島へ」をテーマにひまわりを育ててくれました。小学生など210名の皆さんで種まきが行われ、9月に大きな花を咲かせました。



**広島県**  
**福島ひまわり里親プロジェクトを応援する会**  
2012年4月に広島、岡山でのチームふくしまの講演会を主催。さらに、尾道市で開花した約1,000本のひまわりの中で BBQ大会も開催しました。



**広島県 平和記念式典**  
8月6日、平和記念式典で広島、京都の里親さんと共に代表の半田が献花しました。この日献花したのは、広島で福島を思い育てていただいたひまわり。福島への思いが全世界への祈りへと変わりました。



**石川県 金沢美術工芸大学**  
チームふくしまの講演会が行われ、多くの学生、教授が福島の現状やプロジェクトの話を聞き、目を輝かせました。講演会後、キャンパスと近くの保育園で学生による種まきもありました。



**長野県 菓匠Shimizu**  
「菓子作りは夢作り」をモットーに活動する菓匠 Shimizu。昨年からひまわりを育て、主催する夢ケーキのイベントで福島を訪れました。福島の地に咲く絆のひまわりに感動した様子でした。



**岩手県**  
**NPO再生の里 やるきタウン**  
津波で壊滅的被害を受けた陸前高田市、奇跡の一本松近くの国道沿いに、ひまわりロードを作りました。奇跡の一本松から希望の二本松へ、採取された種は来年、福島で希望の花を咲かせます。



**千葉県 社会福祉法人九十九里ホーム**  
特別養護老人ホーム瑞穂園の畑と、横芝町の第二松丘園でひまわりを育ててくれました。種まきをした入居者の方々や地域のガールスカウトの皆さんの笑顔の写りが事務局に届きました。



**広島県 向原高校**  
「地域一体となって復興を心から応援していきたい」、生徒さんたちの思いから、地元商工也会も協力、商店街にプランターを設置して「ひまわりのある駅通り」に、生徒会がこの取り組みが認められ、ボランティアスピリット賞を受賞しました。



**広島県 広島県社会福祉協議会**  
昨年に引き続き参加。8月にはボランティアで福島を訪れ、まるせい果樹園で開花したひまわりの見学、吉川屋で芽っせーじ展をこぞになりました。



**広島県 「ひまわり5円募金」**  
修道大学の学生ボランティア Rapportの皆さんが、広島の人たちに活動を広めようと、募金に協力した方にひまわりの種を贈る「ひまわり5円募金」を行いました。メッセージも集め、集まったメッセージは福島県内で展示されました。



**島根の未来プロジェクト**  
神田代表が、復興ツアーに参加し、安達ヶ原ふるさと村と岳温泉への種の奇蹟、土湯温泉での種まきなどを体験。出発に暮らす皆さんが「いざ」という時の為、福島から学ぼうと講演会を主催してくれました。



# 全国各地でたくさんの方が福島ひまわり里親プロジェクトに参加くださいました 里親のみなさんに心から感謝申し上げます

(写真を頂いた方、福島に来られた方の一部を掲載しています)



**岡山県**  
**晴れの国発「福島ひまわり里親プロジェクト」**  
おかやま米粉普及推進ネットワークとわくわく倉敷が実行委員会として赤穂市の休耕田にプロジェクトのひまわりを咲かせました。苗植えには約80名が参加、福島から兵庫に避難した方が見に来るなど、たくさんのお出迎えがありました。



**福岡県 株式会社テンガイ**  
**島根県 出雲bijin 島根の未来プロジェクト**



**広島県 平和記念式典 「ひまわり5円募金」 広島県社会福祉協議会 ひまわりの会 福島ひまわり里親プロジェクトを応援する会 向原高校**



**京都府 グンゼ株式会社のぞみ鍼灸整骨院**  
**岡山県 晴れの国発「福島ひまわり里親プロジェクト」**



**長野県 菓匠Shimizu**  
**東京都 大石会計事務所**  
**静岡県 静岡県商工会 YûさんKeiさん**



**千葉県 社会福祉法人九十九里ホーム**  
**神奈川県 座間市商工会青年部**



**宮崎県 みやざき中央新聞**  
事務所にて見事な花を咲かせてくれただけでなく、実際に福島を訪れ、まるせい果樹園に種を贈呈されました。新聞紙面でも、チームふくしまの講演会の様子を4回にわたって特集。多くの方にプロジェクトを知って頂くきっかけを作りました。



**大分県 実業家 永松茂久さん 竹馬会**  
**宮崎県 みやざき中央新聞**



**大分県 竹馬会**  
「みんなで作るうまみムラを！」を合言葉に地域づくり活動を行っている竹馬会。今年は老人クラブ、子ども会をはじめとする約80名の方と、6,000粒の種を蒔き、ひまわりを育ててくれました。



**大分県 実業家 永松茂久さん**  
昨年からの隔年ファミリーでひまわりを育てている永松茂久さん。講演会で福島を訪れた際、全国の皆さんの種が必ず一箱入っている特別な種のセットを福島シードに寄贈しました。



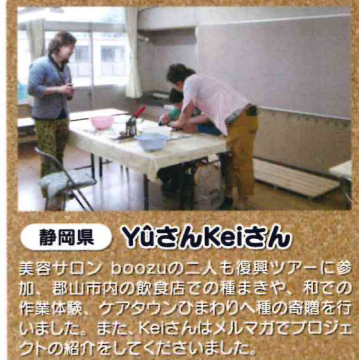
**福岡県 株式会社テンガイ**  
九州・関東の各店舗および店舗周辺の住民や子供会に配布し、社員、地域住民、小学校の子どもたちや介護施設の利用者など、796名が参加。約4,000株のひまわりが咲きました。種は店舗で回収し、事務局へと届けられます。



**岩手県 出雲bijin**  
自信、目標を持って輝く「出雲 bijin」にひまわりを育てていただき、とれた「美人種」を福島に持って行き交流をしようという「ひまわり美人計画」を実施。多くの方が賛同し、大量の美人種が集まりました。



**静岡県 静岡県商工会**  
復興ツアーでいわき市を訪れ、好間町商工会の皆さんと保育園で種まきをしました。青年部全支部でひまわりを育てており、映像の作成、フォトコンテストの開催など、ひまわりを通して多彩な活動を展開しています。



**静岡県 YûさんKeiさん**  
美容サロン boozuの二人も復興ツアーに参加。郡山市内の飲食店での種まきや、和での作業体験、ケアタウンひまわりへの奇蹟を行いました。また、Keiさんはメルマガでプロジェクトの紹介をしてくださりました。



**三重県 小川さん親子**  
のぞみ鍼灸整骨院を経営する小川さんとともに、同院院長の小川さん親子が福島復興ツアーに参加。目が不自由な小川さんのお父さんは、「ひまわりを福島に「見」「行く」と言われ、リステル猪苗代や和で咲いたひまわりを楽しみました。



**京都府 グンゼ株式会社**  
CSR(企業の社会的責任)として参加。国内全16事業所で栽培しました。事業所毎に「ひまわり日記」をつけてもらい、全社に配るなど会社一丸となってひまわり栽培を楽しみました。



**京都府 のぞみ鍼灸整骨院**  
昨年引き続き、大久保、伊勢田院でひまわりの花を育ててくれました。患者さんから借りた庭でもひまわりを咲かせ、スタッフのみなさんと患者さんとの交流も深まりました。

(敬称略)



県内の学校の取り組みを紹介します！

# たくさんさんのひまわりでみんなの笑顔が咲きます。

## 福島県立福島商業高校

福島市にある福島商業高校でも里親さんのひまわりが育てられました。夏休み期間中も生徒たちが世話をし、九月には学校の中庭で開花。校庭には永松茂久さんのメッセージの入った看板も設置されました。



七月中旬に行われたひまわりの種まきで、参加した生徒さんたちにインタビューをしました。「震災があったことで変わったことは何ですか？」という問いに、「座右の銘が『いつでも人が喜ぶ判断を』に変わった」と答えた男子生徒がい

ました。彼は震災前までは、意味もなくかつこい四字熟語を座右の銘にしていたといいます。しかし、震災後、ボランティアをはじめ周りにいた大人たちが、自分をたくさん喜ばせてくれたことで、そんな大人たちの姿に憧れを抱き、座右の銘を変えたというのです。

福島の地では、震災時の大人の背中を見て、「人の為に何かをしたい」と考える子どもたちが生まれています。未来の福島を、日本を担う彼らの言葉に、私たち大人が励まされました。

## 福島明成高校

生物生産科や、生物工学科など地域や科学の進歩に対応した学科のある福島明成高校。全国でも優秀賞を受賞するなど活発に活動している農業クラブの女子生徒二人が代表で種を受け取ってくれました。この日寄贈した種は、同じ

農業高校の岩手県立遠野緑峰高校の皆さんが育てて送ってくれたもの。二人は「たくさんさんのひまわりでみんなの笑顔が咲きます。ありがとうございます。」と里親さんに感謝を伝えました。一年生の授業の中で種まきが行われ、育てられました。



## 特別支援学校

福島県内の特別支援学校でもひまわりの種まきがありました。郡山市のろう学校では、ひまわり里親プロジェクトの鈴木会長より中等部の橋本生徒会長、高等部の古

谷生徒会長に種が手渡されました。二人はプロジェクトのマスコットキャラクター「ひまポポ」をお茶目な胸ポケットに入れなが



鈴木会長(中央左)とろう学校の生徒たち



大笹生の生徒のメッセージ



金メダリスト欄橋さん(右)より種を受け取る芳賀生徒会長

ら、手話で里親さんへ「ありがとう」を伝えてくれました。

同じ郡山市にあるあぶくま養護学校では、同校出身のアテネスペシャルオリピックス金メダリスト欄橋さんより、芳賀生徒会長へ種が贈呈されました。種は全校生徒三四九名に配られただけでなく、学校の花壇でも大切に育てられました。

福島市の大笹生養護学校の高等部の生徒全員にも種が配られました。種を手にした子どもたちから「大切に育てよう」「岩手県からも応援してもらっているんだ！」と声があがりました。どこの地域の里親さんが育てた種かが分かるため、一粒一粒に込められた想いがしっかりと届いたようでした。

## 安達太良小学校

六月二十六日、二本松市の安達太良小学校で種の寄贈と種まきがありました。この日は、同校の学区にある岳温泉のお宿花かんざし若女将二瓶明子さん



11月に遅咲きのひまわりを咲かせた岩瀬農業高校咲いたひまわりのプレゼントも行われた

が、一年生の皆さんに里親さんの想いのつまった種を贈呈しました。

種を受け取った後、子どもたちの手でプランターへの種まきが行われました。一粒ずつ丁寧に種を植え、優しく土をかぶせた後は、手を合わせて「早く芽が出ますように！」とみんなと一緒に祈りをしました。ひまわりは八月に開花し、大きな花を咲かせ、たくさんの子どもたちを笑顔にしました。



# 本プロジェクトメンバーの吉成洋拍理事のエッセイが 福島民報社主催の「ふくしまからのメッセージ」優秀作品に選ばれました

「ふくしまからのメッセージ」は福島の今、福島の人気を内外に発信しようと、県民からのエッセイ募集、オリジナルソングの発表、ロンドン五輪に派遣される「うつくしま復興大使」の委嘱などを行うイベント。福島民報社主催、県と県教委の後援。

このうち、エッセイコンテストでは、本プロジェクトのメンバー吉成洋拍理事のエッセイ「ありがとう」と共に未来へ向かって」が優秀作品に選ばれました。震災後、日常生活が大きく変化するなかで、「確かにあ

の日から、つらいことはたくさんあった。でも『振り子』に例えるならば、『幸福』と『不幸』を行ったり来たりするその振り子は大きくつらい方へ振れた瞬間、その分幸せを感じることになつたのだ」「つらいこともいっぱいあったが『ありがとう』の意味を心から感じることもできた一年だった。福島を支援してくれるたくさんの人々との素敵な出会いや、世界中からの支援に感動した体験とともに、福島の特産は「人」だと言えるよう、地域づくりに向けて行動していく思いを綴った。

最後は「さあ、明るい未来を描き、みんなで前進しよう。一人の百歩より百人の一步が大事」とまとめている（エッセイは七月一日付、福島民報新聞の朝刊に掲載）。  
吉成理事は「福島への思いが伝わればと思つて応募しましたが、まさか受賞できるとは思いませんでした。里親さんをはじめ、プロジェクトに賛同していただいている皆さんの応援のおかげです。これからも福島と全国の皆さんをつなぐ活動を展開していきたいです」と話している。

## 「ふくしまからのメッセージ」優秀賞作品紹介



「ありがとう」と共に  
未来へ向かって  
吉成 洋拍さん 40  
(福島市 飲食店経営)

誰かのおかげで、私も「振り子」に例えるな  
ちの備忘録が変わった。それは「幸福」と「不幸」  
の両方について書いた。振り子は大きくつらい方へ  
振れた瞬間、その分幸せを感じることになつたのだ。  
つらいこともいっぱいあったが『ありがとう』の意味  
を心から感じることもできた一年だった。福島を支援  
してくれるたくさんの人々との素敵な出会いや、世界中  
からの支援に感動した体験とともに、福島の特産は「人」  
だと言えるよう、地域づくりに向けて行動していく思い  
を綴った。

誰かのおかげで、私も「振り子」に例えるな  
ちの備忘録が変わった。それは「幸福」と「不幸」  
の両方について書いた。振り子は大きくつらい方へ  
振れた瞬間、その分幸せを感じることになつたのだ。  
つらいこともいっぱいあったが『ありがとう』の意味  
を心から感じることもできた一年だった。福島を支援  
してくれるたくさんの人々との素敵な出会いや、世界中  
からの支援に感動した体験とともに、福島の特産は「人」  
だと言えるよう、地域づくりに向けて行動していく思い  
を綴った。

二〇一二年七月二日付 福島民報新聞

## ひまわりの種の取り方

ひまわりの種の取り方は、種を取るタイミングが合っていれば、とても簡単です。具体的に種の取り方を写真とともにご紹介しますね!



福島ひまわり里親プロジェクトに送っていただく場合には、十分に乾燥し終わった種だけを袋に入れて送ってください。



**種の送り先**  
〒962-0052  
福島県須賀川市西川字  
坂ノ下113  
福島ひまわり里親  
プロジェクト事務局

花が咲く時期が終わると、ひまわりの花は種ができて重くなって、写真1のように、頭が下がってくるようになります。写真2のように、茶色の種がむき出しになっている状態が種を取るタイミングとしては理想的です。茎が青々としている時には、切断するにはまだ早い段階です。下の葉が枯れて、上の茎が黄色く変色した場合には、枯れかか

っている状態。その時は花の部分のみをカットしましょう。茎の色も切るタイミングの目安になります。  
続いて具体的な種の取り方です。花の部分を茎からはさみなどで切り取ります(写真3)。手で種の部分をちよつと触てみると、種がぼろぼろと落ちてくる感じ(写真4)。十分に乾燥できていないと取りにくい

です。時期の目安は「触ただけで簡単に種が取れるようになったとき」、これがベストです。鳥が来て、種を食べてしまうようなときには、頭の部分を切り取って、別な場所で乾燥するのがいいでしょう(写真5)。  
道具としては、網。魚を焼くときに使う網などを用意してもらって、上から種の部分をこするようにすると種が取れます。



# 芽っセージ展

全国各地の里親さんからいただいた励ましの手紙や寄せ書き、イラストや写真など、多彩なメッセージを展示したのが「芽っセージ展」。各地で開かれた同展の様子を紹介します。



「希望」の文字のモザイクアート  
ていた兄が「あつ！希望って書いてあるー」と、思いがけない発見を楽しんでいた家族もいました。

会場には千葉県ガールスカウトの皆さんの寄せ書きや、広島県修道大学の皆さんが集めたメッセージなど約五十点を展示。長野県のエクセラ高校より頂いた、大きな「希望」の文字のモザイクアートも展示されました。近くで見えていた小さな女の子が「お母さん、これなんて書いてあるの？」と聞くと、離れて見

## 中合 芽っセージ展

JR福島駅前の百貨店、中合福島店で八月二十二日から二十六日まで開催されました。福島市主催の「ふるさとものづくり工房—まちなかもづくりワークショップ—」の企画の一つとして開催され、たくさんの方の親子連れで賑わいました。



開幕日十二日のテープカットでは、近隣の小学生が参加。元気になりました。自分たちも勉強を頑張ります」と、全国からの温かいエールに勇気をもたらしていました。

六月十二日より一ヶ月間、会津若松市の福島県立博物館で開催されました。歴史を扱う博物館としては異例となる現在を扱う展示会で、全国の里親さんから届いた一万通を超える応援メッセージのうちの一部約二百点を展示しました。広島県海田町の皆さんから届いたひまわりの絵や、長野県須坂園芸高校の皆さんのひまわりの葉っぱの形のメッセージなどを展示。鯖江市立立待小学校の皆さんから送っていただいた歌も会場に流れ、多くの人が足を止めて聞き入っていました。

## 県立博物館 芽っセージ展



吉川屋ひまわり祭り  
かむろみの郷 穴原温泉 匠のこころ 吉川屋  
〒960-0282 福島県福島市飯坂町湯野字新湯6  
TEL:024-542-2266 / FAX:024-542-3604  
http://www.yosikawaya.com/

八月十日から二十日までの十日間、福島市飯坂温泉の吉川屋でひまわり祭りが開催されました。全国の福島支援の絆の気持ちと、お客様とスタッフの絆をつなげたいという思いから、七代目若旦那正樹(本プロジェクト理事)が企画しました。全社員で作ったひまわりバルーンアートや、里親さんにいただいたひまわりの風鈴、芽っセージ五十点が館内に展示され、お客様を迎えるとともに感動を呼びました。八月十四日には、吉川屋の女将とチームふくしまの「元気のチカラ講話」も開催。三重、京都、茨城など全国から里親さんが参加し、震災当日の様子や、それからの福島の歩みに真剣に耳を傾けました。

## 吉川屋 ひまわり祭り

## ふくしまひまわりレポート

須賀川市・阿部農縁 寺山 佐智子さん

今日は須賀川市内で農家民宿と農園を経営されている阿部農縁の寺山佐智子さんを訪ねました。

寺山さんはご実家の阿部農縁で旬の果樹や野菜、そして花などを栽培されているから、農家民宿や農業体験の場を提供されています。いつも首都圏などからお客様が来られて、とても賑やかな農園です。

今年は里親さんから届いたひまわりの種を農園の中にまいていただきました。須賀川市内では空梅雨、日照り続きでした。枯らさないように毎日水をやりを欠かさず育ててくださ

ったおかげでたくさんのお花が咲いて夏には見頃を迎え、多くのお客様を楽しませてくれたそうです。

築80年の農園の作業場の2階は改装されて、落ち着いた雰囲気の民宿となっています。

### 阿部農縁

〒962-0813  
福島県須賀川市和田沓掛49-2  
TEL 0248-75-2382  
移動オフィス 080-1664-6398  
HP <http://abe-nouen.com/>





# 私たちのプロジェクトが新聞で紹介されました

全国各地の新聞に、プロジェクトの活動を取り上げていただきました。いくつかを抜粋してご紹介します。

## 愛の種 福島で満開

福島の復興を応援しようと、全国から種が寄せられたヒマワリが、福島県内で花を咲かせている。約7万粒をまいた猪苗代町の「猪苗代ハーブ園」では今が見頃だ。

NPO「チームふくしま」が企画した「福島ひまわり里親プロジェクト」。昨年、1袋500円で販売した計80%の種を、全国各地で10万人が育てた。採取後、集まった種は約5トにもなり、この夏、県内9千カ所で大輪を開く。

福島県から里帰り中に長男(3)と訪れた竹田暢子(のぶこ)さん(32)は「すごくきれいで、気持ち明るくなる。全国の人の思いを知ればなおさら」と話した。同園の見頃は今月末まで。(川村直子)



### ▲朝日新聞全国版 2012年8月25日(土)

全国から寄せられたひまわりが福島県内で見頃に。満開のひまわりと里帰りに訪れた親子の記事が掲載されました。

**島根から種届く**

福島ひまわり里親プロジェクトで島根県の人たちが収穫した種が、十五日、島根から訪れた里親の二人の手で二本松市岳温泉に届けられた。

来場したのは神田健三さんと細田次郎さん。昨年夏、プロジェクトに同じく島根県内の幼稚園や保育園、事業所、個人が育てたヒマワリから取った種二袋を持参した。

岳温泉農産部にヒマワリの種を届ける神田さん(左から)と細田さん(右)。

するNPO法人「チームふくしま」の半田真仁理事長とともに岳温泉を訪問。花を育てる活動を行う岳温泉旅館協同組合青年部、大内敬博部長(右二瓶朋子さん(お徳花かんざ)と木村泰司さん(鏡が池)に託した。

今後、観光客の目につく場所に種をまき、夏休みに花を咲かせられるよう準備を進める。二瓶さんらは「島根の里親の皆さんにもぜひ見に来てほしい」と呼び掛けている。

### ▲福島民報新聞 2012年5月18日(金)

島根から訪れた里親の神田さんと細田さんの手で、島根県の方が収穫した種が、福島県二本松市『岳温泉』に届けられました。

▲福島民報新聞 2012年8月25日(土)

福島県福島市のデパートで「芽ツッセージ展」全国から福島へのメッセージを開催。

全国から寄せられた心あたたまるメッセージに訪れた人々が足を止めました。

**全国の心温まるメッセージ並ぶ**

県内の至る所をめぐって「福島ひまわり里親プロジェクト」は26日まで、福島市のデパートで「芽ツッセージ展」を開催。全国から福島へのメッセージを募集。訪れた人々は心温まるメッセージを並べ、来場者が見入った。

時間：午前10時から午後7時(最終日は同時間)

入場無料。

市、市社会などつくづく実行委員会主催のまちで。

中合 福島店に50点

### ▲福島民報新聞 2012年7月10日(火)

大分県の里親 永松茂久さんが福島県を訪れ「ふくしまシード」に種を寄贈し、種まきを行いました。

**ヒマワリの種届く**

NPO「チームふくしま」が企画した「福島ひまわり里親プロジェクト」。昨年からヒマワリの種を全国各地から寄せられた種を、福島県内で育てる活動が行われている。

大分県から訪れた里親の永松茂久さんが、福島県二本松市岳温泉に種を届けた。

永松さんは「大分県で育てた種が、福島県で咲くことを楽しみにしています。福島県民の皆さんもぜひ見に来てほしいです」と話した。

**静岡の里親からヒマワリ1500粒**

福島の老人施設に届く

兄安藤さん「花見にきたい」

弟安藤さん「花見にきたい」

田中施設長(右)にヒマワリの種を手渡す(左から)安藤敬さん、安藤優さん、吉成さん

多量の種が届けられた。来場したのは静岡県沼津市で美容室を経営する安藤さん、安藤敬さん、安藤優さん、吉成さん。安藤さんは「花見にきたい」と話した。

### ▲福島民報新聞 2012年5月31日(木)

静岡県で収穫された種が、静岡から訪れた里親のお二人、安藤優さん、安藤敬さんの手で、福島市の『介護老人保健施設ケアタウンひまわり』に届けられました。

**ヒマワリ咲かせてね**

NPO法人「チームふくしま」福島わかたき幼稚園に種を届ける。

県内の若手経営者らでつくるNPO法人「チームふくしま」(半田真仁理事長)は十九日、福島市の福島わかたき幼稚園にヒマワリの種三百袋を贈った。

県外の個人や団体にヒマワリを育成する里親になってもらう「福島ひまわり里親プロジェクト」の一環。種は宮城、千葉、愛媛の各県の幼稚園から寄せられた。

園児にヒマワリの種を手渡す半田さん(中央)

園児にヒマワリの種を手渡した。園児はうれしそうに受け取った。

### ▲福島民報新聞 2012年6月28日(木)

宮城、千葉、愛媛の各県の幼稚園の皆さんから寄せられた種を「福島わかたき幼稚園」の園児に手渡しました。



## 希望の種 ひまわりの仕事

福島県二本松市 NPO法人 和(なごみ)

障がい者通所施設和(なごみ)では、2011年の6月以降、「ひまわり里親プロジェクト」を通じて全国の里親のみなさんのお気持ちから、ひまわりの仕事をいただくようになりました。

種の計量、仕分け、ラベル貼り、ラッピング、お礼状のイラストなど、みんなで分担しながら、得意分野の作業をこなしています。ときには全国各地から里親さんが見学に来られたり、テレビで放映されたりして、利用者のみなさんも励ましをいただいています。

この施設のメインは、利用者のみなさんに、働く場を提供することです。これからもこのご縁を大切にして、ひまわりの仕事を丁寧にやって信頼をいただけるよう作業をしていきたいと思っています。皆さんのこの素敵なプロジェクトが、ますます大きくなうねり、未来の種となって広がっていくことを願っています。

所長 渡辺 聖子

全国の皆さんのひまわりが咲いた福島県郡山市 布引高原(撮影:堀内 孝勇)  
協力:福島民報社(スマイルとうほくプロジェクト)  
編集:藍原 寛子、清野 和也 デザイン:船木とも子